（別紙4（2））

目標達成計画

事業所名　　グループホームうきうき
作成日：　平成 22 年 4 月 19 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		○事業者と地域とのつきあい 町内会参加についての検討や、運営推進委員会のメンバーから地域の行事等の情報を得て参加するなど、地域との日常的な交流がもてるよう。	地域の行事に参加し、地域の方々との交流を深める。	○区長様の訪問。地域の情報を得るために、町内会への入会を打診し、 町内クリーン作戦への参加、施設行事への協力をお願いし、インフォーマルに繋げる相談をする。	12ヶ月
2		○運営推進委員会議を活かした取り組み ホームの理解者、応援者を増やし、メンバーの変更・追加等や、地域の情報の収集・入居者との交流を兼ねた会議の開催・ホームの課題について意見を求める等、会議の有効活用を行なう。	ホームの理解者、応援者を増やすために、2ヶ月に一回、計画的に課題を決め、全てのご家族へ交代で参加していただく。又今後は近所の方、区長様等少しづつメンバーを増やしていく。	ご家族へは、月一回送付している通信を利用し参加を求める。近所の方々へは、普段より全職員が挨拶や外回りの環境整備を心がけ、運営推進委員会への参加へ繋げていく。	6ヶ月
3		○市長村との連携 地域密着型サービスである事から、市行政との連携は不可欠である。時には市担当者へホームの状況報告等に出向いたりホームのイベントに招待し理解を深めてもらう。	運営推進委員会を利用し、状況報告や相談をする。	バザーや施設の行事の案内を密にする。	12ヶ月
4		○災害対策 災害時における地域との連携について、運営推進委員会で検討したり、地域の消防団に協力を求める等、協力体制が必要。	運営推進委員会に地域の方の参加を呼びかける事で、災害時の連携に繋げていく。	夜間帯を想定した避難訓練をし、地域の方へ参加をおねがいする。	12ヶ月
5		○ご家族アンケートより 職員が生き生きと働いているようにみえるか？の質問にたいし、2名の方が一部の職員との回答がありました。	スタッフの技術、知識の向上を図る為の勉強会を定期的に行うと共に、介護ストレス解消に努める。障害者のスタッフを受け入れている事で、ご家族様より、やる気がないように受け取られやすいため、理解を求める。	月1回勉強会を行なう。 ご家族通信で、障害者のスタッフについて理解をもとめる。	1ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。